

「万葉共学 ～いま学び、いま活かす、臨床検査の基礎力～」

—夢なきものに成功なし—

学会長 森嶋 良一

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会／奈良県立医科大学附属病院

今、医療界は AI や先端医療技術の台頭により、パラダイムシフトの真ただ中にあります。検査機器の自動化やデータ解析の高度化は業務を効率化させる一方で、私たち臨床検査技師の本質的な価値をかつてないほど高めています。

いかに AI が進化しようとも、生命のデータを読み解き、最終的な判断を下すのは「人間」にほかなりません。特に高度専門領域において、熟練した経験と深い知見を持つ検査技師の存在は不可欠です。さらに、チーム医療におけるコミュニケーションの要として、また患者一人ひとりに寄り添うプロフェッショナルとして、私たちの活躍の場は多様化し、柔軟なキャリアの選択も可能となりました。

これからの時代が求めるのは、進化を恐れない、より高度なスキルを持った臨床検査技師です。データ解析の知性を磨き、専門技術をアップデートし続けることが重要になります。

また、我々臨床検査技師の明るい将来に向けて、次世代を担う若い人材の育成が鍵となるでしょう。第 65 回日臨技近畿支部医学検査学会においては、「万葉共学 ～いま学び、いま活かす、臨床検査の基礎力～」をテーマとし、「Next challenge（次なる挑戦）」に向けた準備としての基礎固めを狙いとしています。

将来を担う方々が夢を描き、明確な理想を持ち、着実な計画のもとで実行に移していく。本学会が、皆様の将来への道しるべとなる第一歩となれば幸いです。